

第六回 天龍峽詩歌募集 入選作品集

応募期間／平成二十五年九月一日～二十六年八月三十一日
応募数／四百十七点 俳句百九十三点・短歌八十五点 川柳百三十九点



■俳句部門

林 悠司 先生選

応募数百九十三点

【特 選】

雪しまき龍^{りゅうかくほう}角峯も見栄を切る

園田 稔 (山梨県)

夏座敷わけても峡の鯉料理

須藤 剛一 (静岡県)

峡下る櫓音に競う蟬時雨

宮下 和家 (飯田市)

【秀 逸】

新緑の峡に溶けこみ舟下る

長沼 昌司 (高森町)

峡をゆく若船頭や風薫る

北 寧 駒ヶ根市)

溪谷は永久に変わらず紅葉道

岡田 孝道 (埼玉県)

吊橋へ舟より応え溪若葉

窪田 政子 (飯田市)

天龍の霧が育む果樹の畑

原 勝利 (神奈川県)

【佳 作】

伊那節を紅葉に聞かせ舟下る

後藤 幸雄 (飯田市)

老鶯^{ろうおう}や膝を並べて足湯して

貝田ひでを (熊本県)

名水や龍吐く水の温みけり

小田中準一 (千葉県)

天龍に舟歌流る紅葉かな

三村 光子 (神奈川県)

晩秋に鳴鶴めいかくの書は重み増し

裸木の透けてまばゆき青い空

紅葉も燃え上がってる天龍峽

万緑や奇巖奇石の匂ひ立つ

天の川天龍峽と直交す

万緑の色織りなすや天龍峽

天龍の風颯颯さっさつや鯉のぼり

天龍の川面を渡る百合の風

山里の湯舟に浮ぶ十三夜

安藤 嘉子 飯田市

原 ちふみ 阿智村

井上 英一 大阪府

菅原 文子 神奈川県

本田 隆道 東京都

石川 圭子 愛知県

牧田 道代 愛知県

田中 亮次 駒ヶ根市

市瀬 愛子 松川町



■短歌部門

応募数八十五点

【特 選】

市丸の龍峽小唄が聞え来るそんな気のする歌碑に寄りそう

林 利恵 飯田市

何時の代の名勝天龍船下りきしる櫓の音力こもれり

小木曾美恵子 飯田市

【秀 逸】

生徒らははしやぎ駆けゆく吊り橋の揺れ静まるを待ちて渡りぬ

坂野 加代 愛知県

雨上がりそよぐ青葉の瑞々し谷より湧きし霧棚引きて

松尾 浩子 飯田市

朝霧は淡く流るる吊り橋より仰ぐ山々今朝しずかなり

岡田 孝道 埼玉県

昇り龍のごとくに続く階段を数える子らの声ひびきおり

原 ちふみ 阿智村

【佳 作】

姑射橋こやぎハシをくぐれば揺るる山ユリの香の流れくる天龍川下り

小田中準一 千葉県

いにしえは海原となりし天竜川ダム工事成りて今は被災無し

木下みつき 飯田市

天龍峽梅雨の晴間の一時の暑さ忘れる人のやさしさ

小池 逸次 (岐阜県)

文化の日決めてたづねし天龍峽今年も来ました魅せられて五年

加藤 幸子 (愛知県)

天龍のさくらやつつじ祝いたる我母卒寿至福の時よ

宮崎 浩 (飯田市)

今遠く磨崖まがいに刻みし十勝の風雨に耐えし百十余年

橋本 国雄（飯田市）

舟頭の余興に拍手と歓声が天竜川の空にはじける

神田美智子（東京都）

家族づれ孫のほほえみ背に受けてほほえみかよう初夏の天龍

後藤 孝子（愛知県）

■川柳部門

応募数百六十二点

【特 選】

地図にない人情にあう天龍峽

岡田 孝道（埼玉県）

【秀 逸】

龍角峯りゅうかくほう見上げて測る龍の姿よ

青柳鬼（飯田市）

【佳 作】

吊り橋でか弱き乙女のふりをする

原 ちふみ（阿智村）

もう一杯若がえり水願いこめ

Y・I（愛知県）

四季の彩見せて和ます溪谷美

犀水（長野市）

フレームを流れはみ出す天龍峽

海苔ちゃん（静岡県）

木漏日の川に煌めく薄緑

ぬらりん（愛知県）

投網待っライン下りのトンビかな

行 雲（兵庫県）

川柳も浮かぶ暇無し川下り

らくちゃん（埼玉県）

白蓮になりきる妻と手をつなぎ

パパラッチ（新潟県）

■天龍峽ふれあい賞 天龍峽のお店や施設からの賞です。》

【尾曾写真館賞】

遊歩道歩むこの道夫婦道寄り添う影に幸せの鐘鳴る

散歩(千葉県)

【こや堂賞】

孫と来て天龍下れば散るしぶき淡く照らせる昼の月あり

岡田 孝道(埼玉県)

【峽泉賞】

生徒らははしやぎ駆けゆく吊り橋の揺れ静まるのを待ちて渡りぬ

坂野 加代(愛知県)

【辻本屋賞】

今遠く磨崖に刻みし十勝の風雨に耐えし百十余年

橋本 国雄(飯田市)

【天龍峽温泉交流館賞】

温泉の音に霧を染めゆく紅葉咲く天龍峽に憧れて来し

長沼 昌司(高森町)

【天龍ライン下り賞】

投網待つライン下りのトンビかな

宮田 賢三 兵庫県

【時路屋賞】

やまゆりのかおりほのかにむかしそば

北野まゆみ(飯田市)

【広庭農園賞】

風越の山をみながら玉廻し光を浴びてリング喜ぶ

斉藤 光夫(埼玉県)

【フクザワ賞】

赤黄色木々にさしたる陽光と青き流れる天龍峽

山田 秋米(東京都)

【三輪楽雅堂賞】

生徒らははしやぎ駆けゆく吊り橋の揺れ静まるを待ちて渡りぬ

坂野 加代(愛知県)

【龍峽亭賞】

龍峽に女将三代ほととぎす

須藤 剛(静岡県)

【りんご足湯賞】

天竜の色に染まりし足湯舟

中村 与（須坂市）

*一部、作品の漢字や仮名遣いを修正させて頂いている場合があります。

また、天龍峡では、「天龍峡」の「カゆう」の字を「竜」ではなく「龍」を推奨しており、そのように変更させて頂いている場合がありますがご了承下さい。
なお、誤字脱字がありましたらご容赦下さい。

天龍峡観光再生実行委員会

